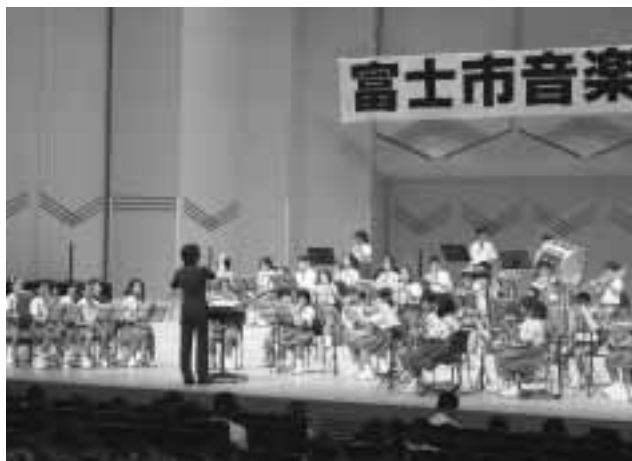




牛乳パックの再利用
を考える全国大会
(伝法小学校による
再利用事例発表)
七月三十一日
(ロゼシアター)



練習の成果に、温かい拍手 「富士市小学校音楽発表会」

7月24日 小学校での音楽学習を発表する場である「第38回富士市小学校音楽発表会」が、ロゼシアターで行われました。市内25校の児童たちが、授業や放課後の練習で頑張ってきた合唱や合奏などを、家族らが見守る前で披露しました。会場には美しい音色が響き渡り、児童たちの表情は、ステージ上はもちろん、他校の演奏を聞くときも真剣そのものでした。



いざ北海道へ、行ってきます 「富士市青少年の船」

7月27日 台風の北上に伴い、急きょ行き先を沖縄から函館に変更し、ことし「にっぽん丸」に舞台をかえた「富士市青少年の船」が出航。研修生たちは期待と不安を胸に、4泊5日の洋上研修に臨みました。日ごとに仲間同士のきずなは強まり、大声コンテスト、青春まつりなどのグループ活動を通じて「ひとりみんなのために、みんなはひとりのために」のテーマの意味を実感したようでした。



潮風を気持ちよく受けて 「日本ぐるっと一周・海交流04 駿河湾交流 in 田子の浦」

7月18日 「海の日」を前にしたこの日、海に親しみながら人々の交流を図ろうというイベント「日本ぐるっと一周・海交流04 駿河湾交流 in 田子の浦」が、田子の浦港周辺で行われました。親子連れに人気だったのは、ヨットや白バイに乗れるコーナー。子どもたちは、初めて見る大きなヨットにびっくり。目を輝かせながら、海の上を走るヨットの上で楽しそうな歓声を上げていました。



図鑑から飛び出したみたい！ 「世界昆虫博 in Fuji」

7月21日～8月15日 世界中の珍しい昆虫を集めた「世界昆虫博 in Fuji」が、ロゼシアターで催されました。この昆虫博は、昆虫を通して地球環境を考える心を育てようと、安曇野蝶類研究所の協力により開催され、約2万点のチョウやカバトムシの標本が展示されました。会場では、実際に、生きた昆虫に触れたり、記念撮影をしたりと、子どもたちにとって忘れられない夏休みの思い出になりました。



マグロの解体に目がくぎづけ 「夏休み親子市政教室」

7月30日 ふだんあまり見ることのない施設を、親子で見学して市政に興味を持ってもらおうと、「夏休み親子市政教室」が行われました。公設地方卸売市場では、迫力あるマグロの解体や、せりを目の当たりにし、参加した親子たちは、緊迫した空気に息を飲んでいました。廃棄物の中間破碎施設や最終処分場では、ごみがどのように処分されるかを知り、環境に対する意識が高まったようでした。



野菜の皮だって使えるんだね 「少年教育事業エコクッキング」

7月28日 天間公民館で、小学生を対象とした「エコクッキング」教室が行われ、「夏野菜カレー」づくりに挑戦しました。先生の「ジャガイモの皮は揚げればおつまみになるし、ナスのへたにはうまみがあるから、みじん切りにしてカレーに入れればごみも減って、一石二鳥」という言葉に、参加した子どもたちは感心していました。環境のことも考えながら一生懸命つくったカレーの味は、格別だったようです。



「はっ！」お見事です



市民パフォーマンスでは、本格的なダンスや楽器の演奏に、観客から大きな声援が



幻想的な「かくや姫絵巻」



「見て！富士山ができてきたよ！」
富士山のパズル



太鼓の音に、胸も躍ります



笑顔があふれた日

七月二十五日

二〇〇四年 富士まつり